

年金制度の財政の仕組み

現役世代の支払った保険料は、年金制度を通じて、その時々の高齢者の給付に充てられます。こうした仕組みを「世代間扶養」と言います。

このような仕組みであるからこそ、遠い将来の高齢期でも、生活の基本的部分を支える給付を受けることができるのです。

【年金財政のイメージ】

